

# - 目次 -

## 第1章 検証環境の基本構成

- 1 検証環境の基本構成
- 2 検証環境の構成要素(1)
- 3 検証環境の構成要素(2)
- 4 検証環境の構成要素(3)
- 5 検証環境の構成(NG例1)
- 6 検証環境の構成(NG例2)
- 7 検証環境の構成(NG例3)
- 8 検証環境の構成(推奨例)
- 9 まとめ

## 第2章 検証自動実行の必要性

- 1 検証を手動実行(1)
- 2 検証を手動実行(2)
- 3 実行の自動化
- 4 自動実行
- 5 バッチ処理環境の起動(1)
- 6 バッチ処理環境の起動(2)
- 7 シェルスクリプトとバッチファイル
- 8 バッチ処理のファイル例(1)
- 9 バッチ処理のファイル例(2)
- 10 バッチ処理ファイルのインテリジェント化

## 第3章 単体シミュレーション用スクリプト

- 1 適切なディレクトリ構成の採用
- 2 題材のディレクトリ構成
- 3 スクリプトの流れ
- 4 ①テストケースの選択(自動化実現方法)
- 5 ①テストケースの選択(コマンド引数の使用)
- 6 ①テストケースの選択(テストケースのコピー)
- 7 ②コンパイル、実行とログ管理(オプションの使用)
- 8 ②コンパイル、実行とログ管理(コンパイルコマンド)
- 9 ②コンパイル、実行とログ管理(シミュレーションコマンド1)
- 10 ②コンパイル、実行とログ管理(シミュレーションコマンド2)
- 11 ③期待値と出力値の比較(1)
- 12 ③期待値と出力値の比較(2)
- 13 ④エラーメッセージの抽出(スクリプト実行ログ)
- 14 ④エラーメッセージの抽出(標準出力と標準エラー出力)
- 15 ④エラーメッセージの抽出(スクリプト実行ログ応用1)
- 16 ④エラーメッセージの抽出(スクリプト実行ログ応用2)
- 17 ④エラーメッセージの抽出(エラー抽出1)
- 18 ④エラーメッセージの抽出(エラー抽出2)
- 19 ④エラーメッセージの抽出(エラー抽出3)

## 第4章 リグレーションスクリプト

- 1 リグレーションスクリプト
- 2 ①複数のテストケースの自動実行(方法1)
- 3 ①複数のテストケースの自動実行(方法2)
- 4 ①複数のテストケースの自動実行(方法2の続き)
- 5 ①複数のテストケースの自動実行(方法3)
- 6 ②全テストケースの成否判定(リグレーションログ1)
- 7 ②全テストケースの成否判定(リグレーションログ2)

## 第5章 スクリプトに必要な要素

- 1 スクリプトに必要な要素
- 2 スクリプト処理の流れ
- 3 スクリプト処理の流れ
- 4 exit文
- 5 単体スクリプト入力引数チェック
- 6 シミュレーション実行前の環境クリーン(1)
- 7 シミュレーション実行前の環境クリーン(2)
- 8 シミュレーション実行前の環境クリーン(3)
- 9 データ格納用ディレクトリの作成
- 10 単体スクリプト例(1)
- 11 単体スクリプト例(2)
- 12 リグレーションスクリプト例
- 13 出力データの圧縮
- 14 波形ファイルの出力
- 15 オプションスイッチ(1) 多方向分岐case文
- 16 オプションスイッチ(2) 多方向分岐case文記述例
- 17 オプションスイッチ(3) データ圧縮
- 18 オプションスイッチ(3) 波形出力
- 19 単体スクリプト例(オプションスイッチ)(1)
- 19 単体スクリプト例(オプションスイッチ)(2)
- 20 単体スクリプト例(オプションスイッチ)(3)

## 付録 bash文法補足

## 付録 DOSスクリプト/Cシェルスクリプト

## 演習